

抗A β 抗体薬時代のアルツハイマー型認知症治療

認知症の原因としてアルツハイマー型認知症（AD）が最も多く、諸説ありますがアミロイド β （A β ）仮説が有力となっています。抗A β 抗体薬として2023年9月レカネマブ、2024年11月ドナネマブが発売となりました。従来の対症療法による時代から疾患修飾療法ができる時代を迎えました。2薬剤についてはそれぞれに特徴があり、患者や家族の意向、ライフスタイルなどに応じて選択する必要があります。また、早期発見、早期治療の重要性が増していますが、地域医療連携が今まで以上に大切となります。現状と課題について報告させていただきます。

講師：岡山中央病院

脳神経内科 医師 真邊 泰宏

日時：2025年12月11日（木）

18時30分～19時30分

方法：オンライン（Zoom） ※zoomのみの開催となります

対象：医師・医療従事者

備考：岡山県医師会生涯教育講座申請中 ※ 29：認知能の障害

問い合わせ先：岡山中央病院 地域連携室

Tel (086) 252-5002 Fax (086) 252-3929

Eメール：khg-renkei@kohjin.ne.jp

【お申し込み方法】

勉強会参加ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、岡山中央病院 地域連携室までメール、またはQRコードでお申し込みください。 khg-renkei@kohjin.ne.jp

記載項目：1. 施設名 2. 連絡先 3. 氏名 4. フリガナ
5. 職種 6. 医籍登録番号（医師のみ） 7. メールアドレス

メールでお申し込みの方には、
後日、Zoom参加のURLをメールにて返信させていただきます。

